

2 この作品を見た! あくたがわひさし (とお こえ) 芥川永《カントリス(遠くの声③)》 (1915-1998) 1984(昭和59)年、ブロンズ

作者は愛媛県(現・西条市)生まれ。デザイナーを目指していましたが、授業で習ったのがきっかけで、彫刻に取り組むようになりました。



空を見上げて…
何をしている
んだろう?

見て!人が
歩いてるわよ

この服装…
お坊さんかな?
《落葉》さんに
似てる…!

ふむ、
タイトルの「カントリス」は、
フランス語で女性のオペラ
歌手を指す言葉じゃ
おそろく、歌を唄っているんじゃない

肩のあたりに、羽根みたいな
ものがあるわ!

音楽を楽しむ心は平和そのもの…
その平和な心を周りに伝える
歌い手は、天使なのかもしれん

作者は、平和記念公園の
《被爆教師と子どもへの碑》にも、
平和への願いを込めたんじゃ

作者が彫刻の
修業をしていた時代、
毎朝、修行僧が
やってきたそうじゃ
彼らのがんばりに
共感していたことを
思い出して、この作品を
作ったんじゃないよ

山の上に月が出ている
から、もう夜だね
この上り坂は、どこまで
続いているのかな…

作者が若いころ感じていた、
今の修行で本当に彫刻家にな
れるのか?という不安や
焦りが重ねられているの
かもしれん

何かを目指して、
がんばってる人
みんなを応援
してるみたいね!

そういえば、
ふたりに土産があつての

お前さんの彫刻を、ゴッソ
作ってみたんじゃが…

えっ!?
私たちの彫刻!?

1 ひらぐし でん ちゅう おちば 平柳田中《落葉》 (1872-1979) 1913(大正2)年、木

作者は岡山県(現・井原市)生まれ。最初は人形師に弟子入りし、やがて本格的な彫刻をめざします。仏教彫刻の伝統をふまえながら、近代彫刻の基礎をひらきました。



お客人もご一緒じゃな
ワシの名は《落葉》じゃ
まあゆつくりしていきなされ

おお、これはこれは
色絵馬のおふたり

まさか
モモンガのようだと思ひ、
その印象を重ねたとのことじゃ

お坊さんとモモンガ、
意外な組み合わせね…!

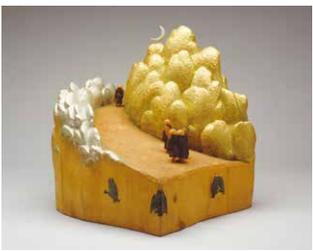
袖がひらひらしていて、
なんだか風を受けたら
飛べちゃいそう!

寒い日だったのかな?
頭巾をかぶって、手も袖の中に
すっぽりかくしているね

足元の落葉をけ散らすように
歩いていく姿が面白かった、
と言っておるぞ

足を前に踏み出してる…
どこかへ歩いて行く
ところかな?

3 この作品を見た! えん つば かつ ぞう 圓鏗勝三 (1905-2003) 《月夜の僧》 1985(昭和60)年、木・銅板・彩色



作者は広島県(現・尾道市)生まれ。京都で彫り物による装飾の修業をしたのち、本格的な彫刻を目指しました。

どうじゃ?
似てるじゃろ

田中先生
リス・ペクトじゃ

木彫

